

NEXT 5 YEARS (2020 – 2024)

SHINWA WISE HOLDINGS

中期経営ビジョン Grand Picture

2021年度－2023年度3カ年計画

Shinwa Wise Holdings株式会社 代表取締役社長 倉田陽一郎

日本美術市場再生プロジェクト
世界の市場に肩を並べるアート市場への再生

31年目を迎えた、私たち、Shinwa Wise Holdings株式会社は、「マーケティング中心の文化支援企業への変身」を目指して事業を進めてまいります。

1989年の設立以来、当社は主な事業として美術品の公開オークション事業を営んでおり、豊富な経験に裏打ちされた美術品への見識、富裕層とのネットワークを強みとして事業を展開しております。

2017年の分社化以降、当社を持株会社とし、各子会社が事業に集中する形をとり、Shinwa Auction株式会社がオークション事業に、Shinwa Prive株式会社がギャラリー運営事業に、Shinwa ARTEX株式会社が富裕層向けの新規事業開発及び運営事業に取り組んでまいりました。

当社は、低迷が続く日本の美術品の価値を高めるべく、高額な美術品を戦略的に保有する「日本美術品市場再生プロジェクト」を進めてまいりました。

しかしながら、美術品の価格は景気の影響を受けやすく、バブル崩壊以降のデフレ経済の中で一貫して低迷しております。そして近年は、当社が主力として取り扱ってきた近代美術のジャンルの中低価格帯の作品の相場が大きく下落するとともに、市場全体の流通量が大幅に減少しております。

このような厳しい経営環境下では当社が思い描くようにプロジェクトを進めることは叶いませんでしたが、新型コロナウイルス感染症の影響を軽減するために各国が金融緩和政策を採用したことにより、日本の本格的なインフレ経済が進行する可能性が生じ、美術品価格の名目上の上昇が予測され、日本の美術品市場の流通が拡大する可能性が出てきています。当社はこの状況を最大限に活かし、日本の美術品市場の再生に邁進してまいります。

まずは、オークション事業を強化するため、営業人員を増強すると共に、営業サポート体制を整備し、営業力の強化をはかります。また、シンワ資産形成アート投資サロンを主宰し、30代から40代の新たなコレクターを育成するとともに、インターネットライブビディングシステムやオンラインオークションシステムなどを導入し、より多くの方がアートに関わることができる環境を整えます。

その他、国内外オークション会社との資本提携も視野に入れた業務の連携や提携により企業グループの拡大を目指し、アートファンドの立ち上げ・運用、多数のコレクターが一つの美術品をシェアして新たなコミュニティを形成するアートシェアリングと、アート関連の枠組みを広げる展開を模索してまいります。一方で、アート分野以外の事業に関しては、事業の統廃合を進め、必要である場合には各分野のエキスパートをパートナーとして事業を推進し、当社の経営資源全てをアート関連に集中していくことにより、アートにかかる事業の拡大によりグループの成長を目指します。

SHINWA WISE HOLDINGS

マーケティング中心の文化支援企業への変身

日本美術品市場再生 プロジェクト

- 新生オークションチーム
- アート投資サロン
- インターネットライブビiddingシステム
- オークション会社合従連衡・M&A
- オンラインオークション
- アジア事業部
- アートファンド
- アートストーリー
- アートシェアリング
- アートクラウドファンディング
- アートプラットフォーム

戦略子会社 プロのエキスパートを パートナーに

- ダイヤモンド
- 国内外不動産・M&A
- マレーシアPKS・ミャンマー投資
- 再生可能エネルギー事業
- その他新規事業

Shinwa Privé

- アートギャラリー
- アートディーリング

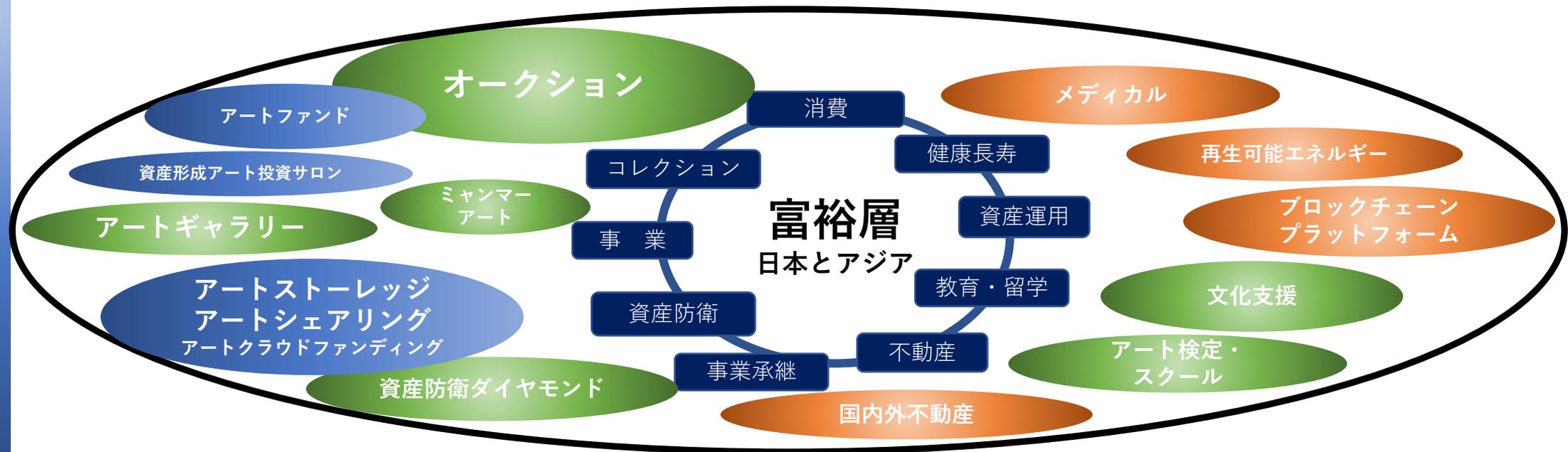
SHINWA WISE HOLDINGS

グループ戦略

富裕層ネットワークの中で生まれ、

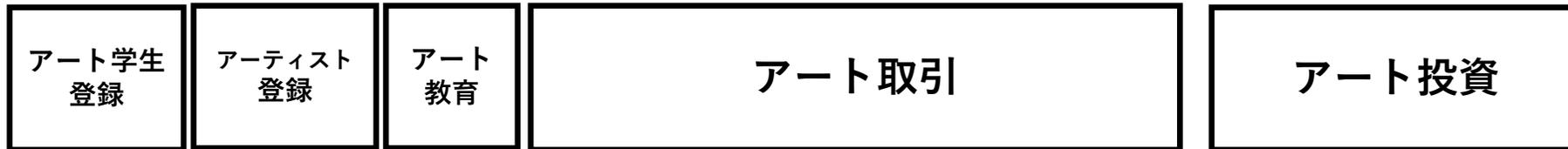
社会全体に広がりを持つ**厳選されたプラットフォーム**を構築し、

強いマーケティング力で、高額高級品の価値付けに責任を持つ**セレクトサービスカンパニー**

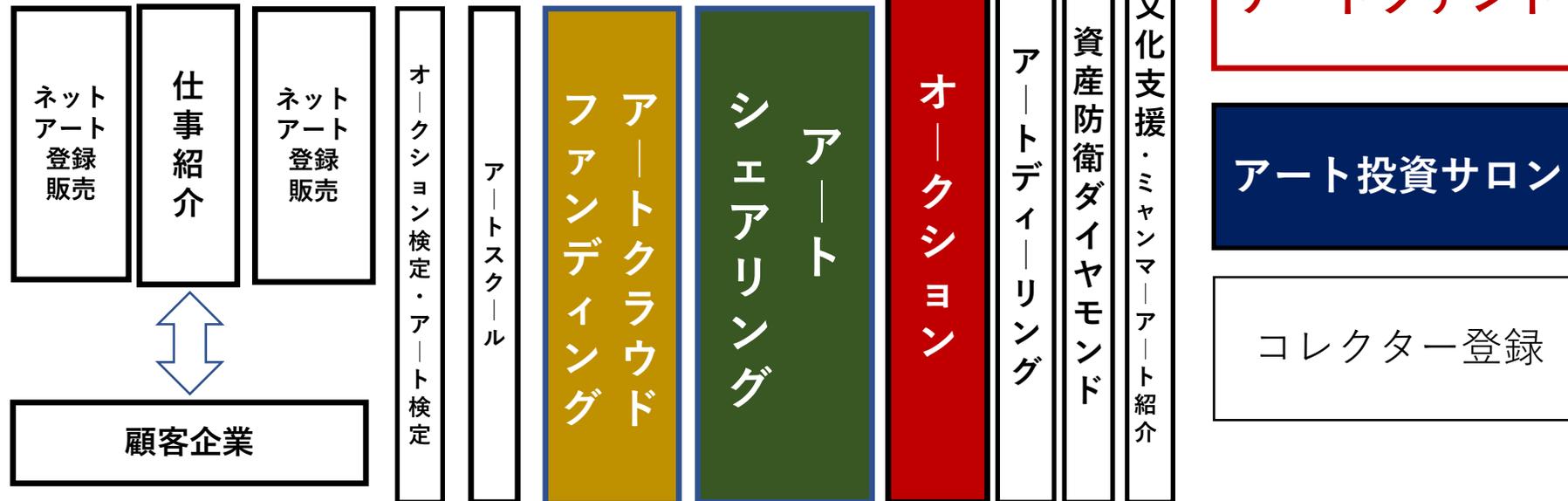


SHINWA WISE HOLDINGS

グローバル・アート・プラットフォーム構想

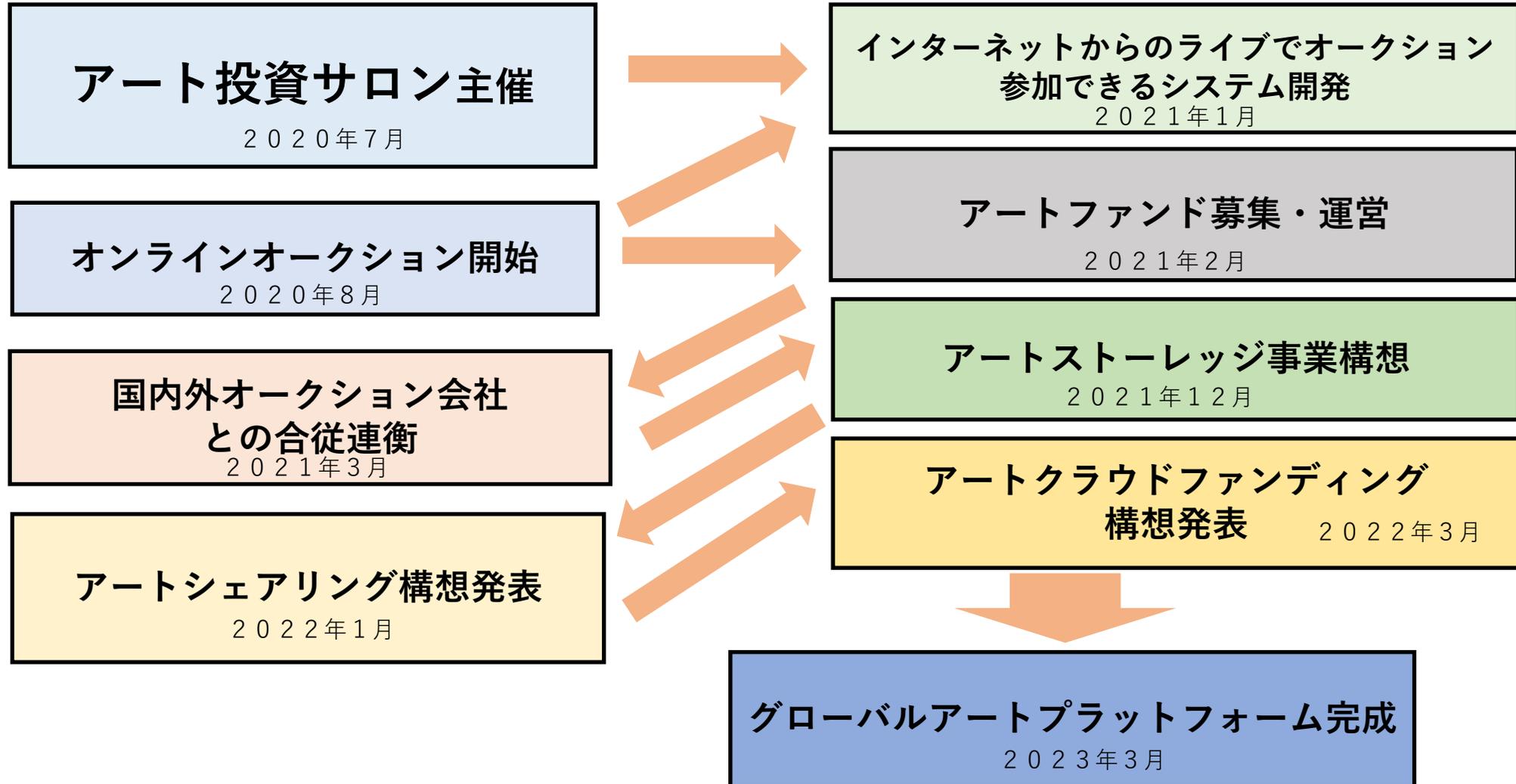


インターネット・アートプラットフォーム



SHINWA WISE HOLDINGS

2020年度・情報通信インフラ・ITを活用したアートプラットフォームの構築



SHINWA WISE HOLDINGS

Shinwa Wise Holdings 中期3 年ビジョン

2020

2021

2022

2023

オークション営業力強化

オークション&アート仕入れ力強化

資産形成アートサロン

インターネットライブオークションシステム運用

オンラインオークション開催

アートファンド運用

業界合従連衡

保税倉庫

アートシェアリング

アートクラウドファンディング

SHINWA WISE HOLDINGS

New Shinwa Wise Holdings マーケティング中心の文化支援企業への変身

インターネット・アート・グローバル・プラットフォーム

Shinwa Auction

国内外オークションハウスの合従連衡

オークション

Prive

ギャラリー

ARTEX

ダイヤモンド
文化支援
エネルギー
メディカル
富裕層アートサロン
人材プラットフォーム

アートストーリー
アートシェアリング
アートクラウドファンディング

将来プロジェクト

Art Fund

日本美術単価引き上げ・マーケットメイク

Shinwa Market

アジア事業部へ変身

マレーシア

PKS・やし殻輸入

ミャンマー

事業開発中

Shinwa Medico

未稼働

Shinwa Create

不動産・MA/その他

フィスコ仮想通貨取引所

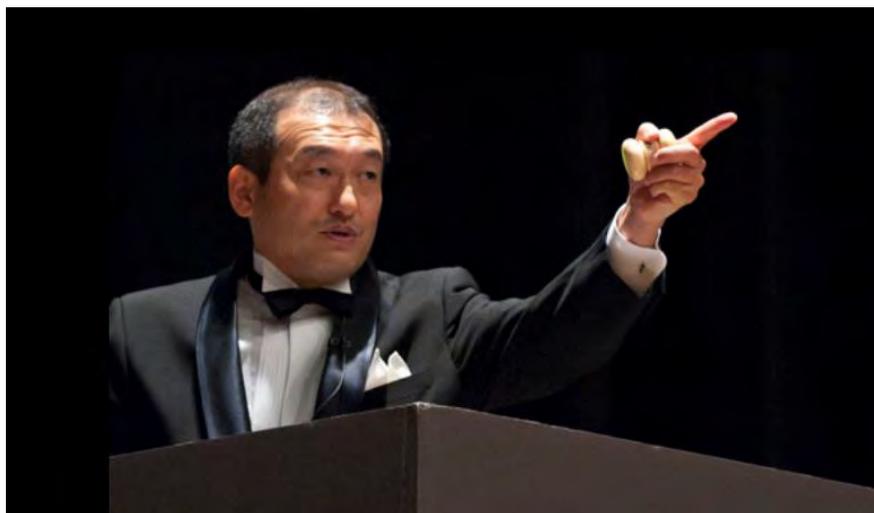
レジストアート

ブロックチェーン

SHINWA WISE HOLDINGS

アートカテゴリー

AUCTION / オークション

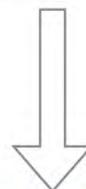


なぜ

日本の美術は、質が高いのに安すぎる

日本近代美術再生プロジェクト

なのか



質の高い日本美術 世界の頂点の質

追い風 アベノミクスによる底値からの脱出

日本美術の再評価 歴史に残る近代美術

日本人としての使命感 日本のアートは日本人が語り継ぐ

施策

資本力・経験・ネットワークで日本近代美術を再生
日本に安定的な美術市場のプラットフォームを創る
オークション事業の収益力強化

日本近代美術の盟主として、日本近代美術の価値付け、向上、維持に責任を持つ
年間市場規模 最低1000億円を達成するために注力
プライベートセールなどで収益を高めつつ、日本近代美術市場を下支えする
芸術的価値及び経済的価値の向上に寄与する啓蒙活動を継続する

NEXT 5 YEARS (2020 – 2024)

時価総額経営の確立：国内外オークションハウスとの合従連衡・事業提携模索

オペレーションの刷新・IT化・新たなメディア導入・業務の効率化

海外高額作品の取り扱い拡大・コンテンポラリーアート取り扱い拡大

SHINWA WISE HOLDINGS

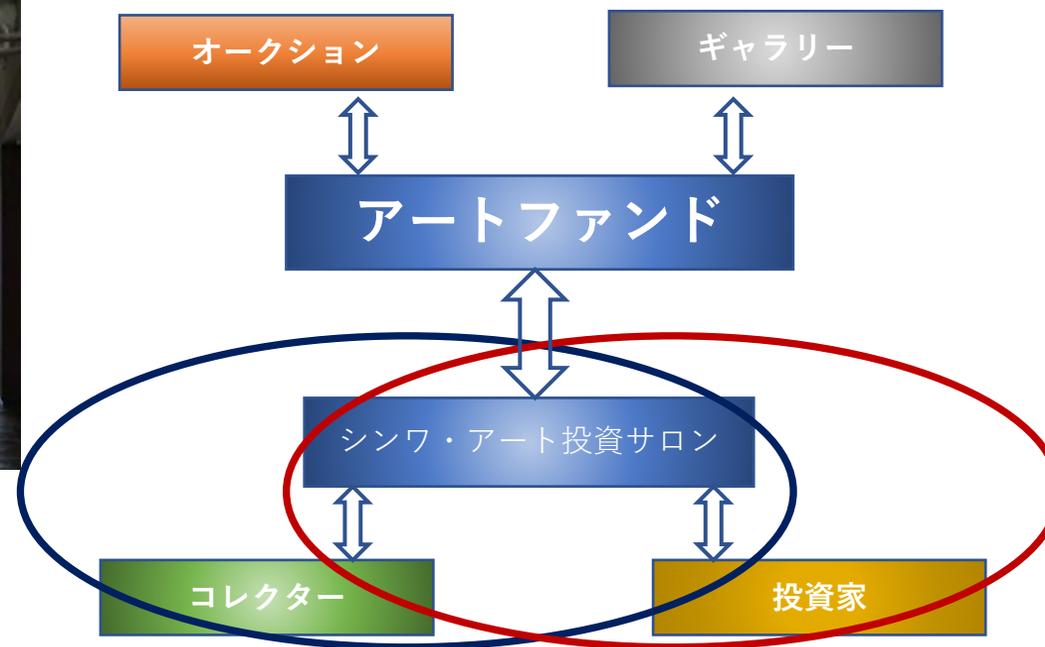
アートカテゴリー

SHINWA PRIVE / ART DEALING ・ ART FUND
シンワプリヴェ/アートディーリング・アートファンド



山口長男

NEXT 5 YEARS (2020 – 2024)



時価総額経営の確立：アートファンド開発・運用開始

時価総額経営の確立：作家発掘・育成・価値付け・グローバルマーケティング

SHINWA WISE HOLDINGS

アートカテゴリー

CULTURAL SUPPORT
文化支援事業



ルンジウエ

NEXT 5 YEARS (2020 – 2024)

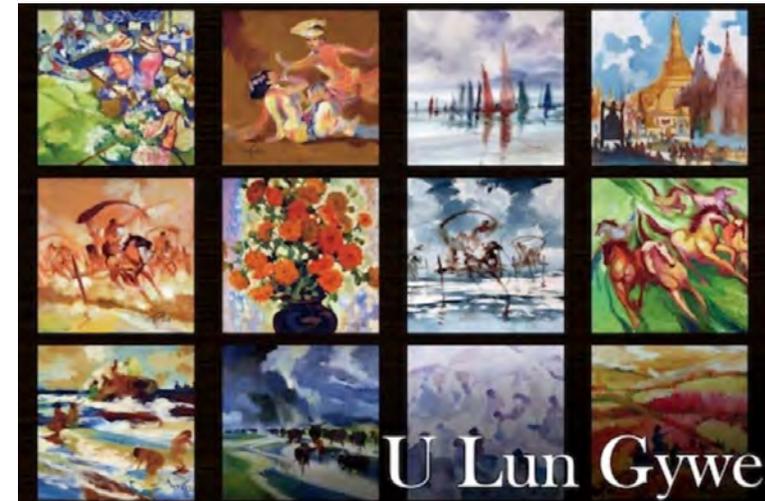
- ① 継続的にミャンマーアーティストの発掘・育成。
- ② ミャンマーアートの日本でのマーケットメイク。

ミャンマーアーティストを日本に紹介
日本ルンジウエ倶楽部主催

2019年6月 ティンリン展

2019年7月 ルンジウエ展

クラウドファンディングにてルンジウエファンド
(ミュージックセキュリティーズにて)



SHINWA WISE HOLDINGS

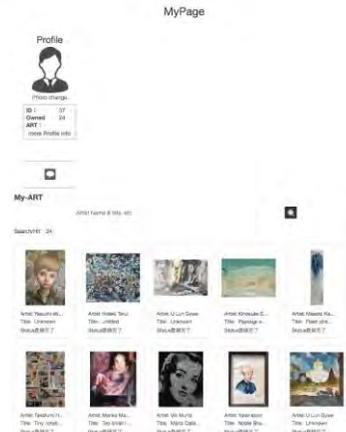
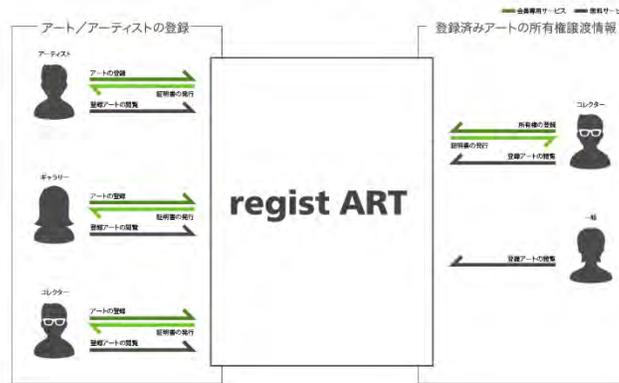
BLOCKCHAIN PLATFORM INVESTMENT アート・ブロックチェーンプラットフォーム投資

アートカテゴリー・成長カテゴリー

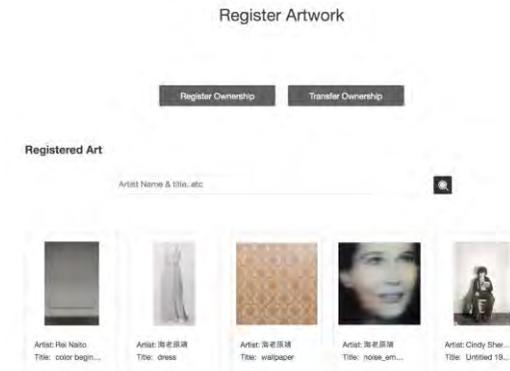
registART

FISCO フィスコ仮想通貨取引所

The regist ART service allows artists and art enthusiasts to register, certify, and browse information regarding artwork ownership rights and transference.
レジストアートは、アーティスト、アート愛好者のための作品の所有権、譲渡情報の登録、証明、閲覧のためのサービス。



ザイフ (ZAIF) を吸収
セキュリティに定評



NEXT 5 YEARS (2020 – 2024)

- ① アート等の動産のブロックチェーン登録プラットフォーム投資拡大
- ② ブロックチェーン・スマートコントラクト・プラットフォーム投資

投資にコミットできるエキスパートのパートナー → カイカ・フィスコグループと連携

SHINWA WISE HOLDINGS

成長分野カテゴリー・非アート

SHINWA DIAMOND CLUB シンワダイヤモンド倶楽部

世界の潮流、資産防衛ダイヤモンド



社会の急激な変動・インフレ・有事の資産防衛
金か、ダイヤモンドか？



代々子孫に、緊急のための資産として受け継がれていくダイヤモンド

現金がリスクにさらされる時代、激動の時代の不測の事態に備えるための資産

①インフレ現金価値減耗 ②通貨切替(デノミ) ③社会動乱 ④金融資産凍結

激動と不安定の時代、資産の1~5%をダイヤモンドに！

今、現金と金の一部をダイヤモンドにシフト

(ユダヤ人・インド人・中国人の常識、日本では資産ポートフォリオ意識革命)

NEXT 5 YEARS (2020 – 2024)

- ① 第二海援隊ネットワークから、全国医者ネットワーク、資産形成クラブへ販路拡大。
- ② ダイヤモンドをブロックチェーン化するスマートコントラクトサイトと連携模索。

事業にコミットできるエキスパートのパートナーと連携

Shinwa Wise Holdings その他の事業

成長分野カテゴリ・非アート

BIOMASS POWER FUEL バイオマス発電所燃料



マレーシア・クアンタンにてPKS(ヤシ殻)を日本へ輸出
2021年の日本のバイオマス発電所完工ラッシュに備え、
高品質PKS製造体制構築
燃料供給体制を現地にて確立

NEXT 5 YEARS (2020-2024)

- ①初期資本投下済み・事業再構築済みであるので、需要拡大する2021年以降の収益化を待つ。
- ②固定買取価格制度で20年続く事業であるので、黒字化した時点で、事業継続か事業売却かを選択。

事業にコミットできるエキスパートのパートナーと連携

成長分野カテゴリ・非アート DOMESTIC&OVERSEAS PROPERTY 国内不動産・海外不動産



NEXT 5 YEARS (2020-2024)

先進国の都市の中で数少ない毎年2桁成長を続ける
テキサス州での不動産紹介を展開

過去30棟以上の紹介実績

クリスティーズ・サザビーズも展開する不動産事業。
富裕層の需要多い。
インバウンド・アウトバウンド需要を取り込む。

事業にコミットできるエキスパートのパートナーと連携

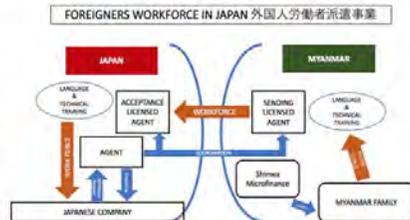
成長分野カテゴリ・アートカテゴリ

MYANMAR INVESTMENT ミャンマー投資



NEXT 5 YEARS (2020-2024)

- ① ミャンマー労働者の日本への紹介
- ② ミャンマーアートへの投資
- ③ ミャンマー国内への事業投資・再構築



投資にコミットできるエキスパートのパートナー → 現地パートナーと連携

維持管理カテゴリ・非アート

ENERGY 再生可能エネルギー事業



約400基の50kW未満低圧型太陽光発電所の開発・販売実績
メガソーラーを含めた様々な高圧型太陽光発電所の開発実績

発電所所在地も、北は栃木・福島から、南は鹿児島県の離島まで広範囲に及ぶ。

NEXT 5 YEARS (2020-2024)

- ① 現在保有中の太陽光発電所の維持管理
- ② 過去、販売した低圧型太陽光発電所のフォローアップ。

事業にコミットできるエキスパートのパートナーと連携

SHINWA WISE HOLDINGS

Shinwa Wise Holdings各社

今期（2021年5月期）経営ビジョン

2020年6月から2021年5月の今期は、4期ぶりの黒字化を目指します。

黒字化の戦略として、オークション事業の営業力の強化および仕入力の強化を図る中で、既存部門の維持拡大を図りながら、コンテンポラリーアートの比重を増やします。また、インフレ懸念の中追い風のダイヤモンド事業の拡大を図ると同時に、アートサロン・アートファンドを立ち上げ、幅広いコレクター層の育成と浸透を図りながら、事業の拡大を図ります。また、ECおよびオンラインオークションを立ち上げ、アジアへの販路の拡大を図ります。

SHINWA WISE HOLDINGS

○Shinwa Auction株式会社

Shinwa Auction株式会社では、営業力の強化を第一の課題として取り組んでまいります。

営業力に秀でた役員や社員が営業組織を牽引する体制に移行するとともに、情報共有と意識の統一を徹底し、組織的な営業力の強化を図ります。同時に、営業手法や美術品への見識、業界慣習などを共有することで個々人の営業力を強化し、自社の強みとする高額高品質な作品への見識に、より磨きをかけ、良質で高額な美術作品を機動的に取り扱うことができるよう取り組んでまいります。

その他にも業務内容の効率化、営業サポート体制の拡充によって、組織としての営業力を強化し、当社グループの主力になってまいります。

インターネットライブビiddingシステムの運用を1月からスタートする予定です。新型コロナウイルス感染症の影響によって緊急事態宣言やイベントの自粛要請がなされると、お客様と社員の安全のためにオークションの開催を延期せざるを得ません。このシステムが導入されれば、お客様はネット上でオークションの状況を把握しつつリアルタイムで入札することができます。電話や書面による入札も合わせれば、新型コロナウイルス感染症の感染防止を図りながら、来場者なしでのオークションの開催も実現可能となります。

そして、さらなるオンライン化を目指して、海外のオークション会社と連携しつつ試験的にオンラインオークションシステムの導入も進めてまいります。

○Shinwa Prive株式会社

Shinwa Prive株式会社では、美術品の価値付けに取り組んでまいります。

従来通りに美術品のマーケティング、相対取引・アートディーリングを行うのはもちろんのこと、アートファンドを立ち上げることでアート業界への投資を活性化させます。他のオークション会社やギャラリーに加え、Shinwa ARTEX株式会社が運営するシンワ資産形成アート投資サロンに入会した若いコレクター、その他一般投資家にも投資を呼びかけます。アート業界の枠を超えて広く一般から投資を募ることで、今までになかった規模の資金流入が期待できます。この資金によって美術作品の価値付け、そして日本の美術市場と近代美術の再生を図ってまいります。

○Shinwa ARTEX株式会社

Shinwa ARTEX株式会社では、ITやSNSで成功した新たな若年層のコレクターの育成を第一の課題として取り組んでまいります。当社グループのお客様は比較的年齢層の高い方が多く、事業の幅を広げるためには、幅広い年齢層の方にお客様になっていただく必要があります。シンワ資産形成アート投資サロンでは、アートに関する最新情報の発信や著名なコレクターによるセミナーの開催など、アートについて啓蒙活動を行うことで、30代から40代の若い富裕層コレクターを育成してまいります。

資産防衛ダイヤモンドは、インフレ懸念を背景に堅調な需要が予想され、シンワ資産形成アート投資サロンや全国医師ネットワークまで販路の拡大を図ります。また、ECやオンラインオークションの開発を急ぎ、中国を中心としたアジアへも販路を広げます。

その他、ミャンマーアーティストの発掘・育成を継続的に行い、日本におけるミャンマーアートのマーケットメイクに取り組みます。

○その他事業（新規事業）

中長期的な新規事業の構築目標として、保税倉庫を含めたアートコレクション保管管理事業の構築、その後、アートシェアリング事業によりアートと人生の新たな関わりを構築します。金融二種免許の取得を目指し、アートを専門にするクラウドファンディングを展開します。当社は、美大生からアーティスト、そしてコレクターや日本の企業をつなぐアートの総合的なプラットフォームを構築します。